

平成24年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

森林・林業総室（内線：7299）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
(新) 異業種(建設業等)の林業参入促進事業	10,080	0	10,080				10,080							
トータルコスト	13,298千円（前年度 0千円）〔正職員:0.4人〕													
主な業務内容	補助金交付事務、技術指導等													
工程表の政策目標(指標)	—													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要 森林・林業の再生のためには、集約化、路網整備、高性能林業機械の導入・活用等の低コスト林業の推進が必要である。このため、建設機械等の操作に習熟した異業種(建設業等)の新規参入を促すことで低コスト林業の取組を加速化させるとともに、新規就業者の雇用促進を図る。</p>														
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 施業(間伐等)技術や補助制度の講習〔他事業活用〕 素材生産の技能者として必要な講習について、受講に要する経費を支援 ※「森林・林業人材育成加速化事業」(鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業)を活用 このほか、普及職員を中心に補助制度や選木等の講習も実施</p> <p>(2) 作業道開設技術の講習〔他事業活用〕 開設・維持管理コストを抑えた作業道を開設する技能を有するオペレーターを養成 ※「鳥取式作業道開設士認定事業」を活用 また、森林作業道の路線選定や作設方法についての技術的知見を深めるため、現地における検討会の開催を支援 ※「森林・林業人材育成加速化事業」(鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業)を活用</p> <p>(3) 新規参入に要する資本整備の支援〔新規〕 高性能林業機械のリース経費等を支援 10,080千円 ※補助要件等は鳥取県林業再生事業に同じ</p> <table border="1" data-bbox="209 1249 1369 1503"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械リース等支援(単県)</td> <td> 作業効率の向上を図る林業機械のリース又はレンタル経費及び所有林業機械の台車回送料について支援する。 ○ 鳥取式作業道開設士及び開設士の所属する団体、素材生産業者、森林所有者 ○ 補助限度額130万円/台 ○ 補助率3/10 ※新規雇用を伴うものは4/10又は5/10まで嵩上げ </td> <td>10,080千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 半林半農〔新規(他事業活用)〕 通年でない林業への参入を行う場合、林業新規就業者のOJT研修を行うための経費を助成する。 ※「県版緑の雇用支援事業」の農林水産コラボ研修支援事業(林業版)を活用 ※建設業等の農林水産業以外の作業への従事期間は支援対象外</p> <p>(5) その他の経費の支援 新規参入事業体の雇用者を対象とした技術習得支援や検診経費の助成等を行う。 ※「森林整備担い手育成対策事業」等を活用 その他、林業への進出を検討するための事前調査等に対する支援も実施する。 ※「鳥取県建設業新分野進出事業補助金」(商工労働部)を活用</p> <p>(6) 情報提供・マッチング支援 林業への新規参入者を対象とした支援制度の発信、新規参入者と森林組合等とのマッチング支援(建設業新分野進出アドバイザーとも連携)を行う。</p>									区分	事業内容	予算額	機械リース等支援(単県)	作業効率の向上を図る林業機械のリース又はレンタル経費及び所有林業機械の台車回送料について支援する。 ○ 鳥取式作業道開設士及び開設士の所属する団体、素材生産業者、森林所有者 ○ 補助限度額130万円/台 ○ 補助率3/10 ※新規雇用を伴うものは4/10又は5/10まで嵩上げ	10,080千円
区分	事業内容	予算額												
機械リース等支援(単県)	作業効率の向上を図る林業機械のリース又はレンタル経費及び所有林業機械の台車回送料について支援する。 ○ 鳥取式作業道開設士及び開設士の所属する団体、素材生産業者、森林所有者 ○ 補助限度額130万円/台 ○ 補助率3/10 ※新規雇用を伴うものは4/10又は5/10まで嵩上げ	10,080千円												
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○ これまでも個々の事業等により事業者に対する支援策を実施してきたが、必ずしも新規参入促進を前面に打ち出したものではなかったところ。</p> <p>○ このため、本事業により既存事業を取りまとめて新規参入促進を前面に打ち出すとともに、特に需要が高いと見込まれる高性能林業機械のリース経費等の支援を実施する。</p>														